



### 二河白道図 (国重要文化財) 鎌倉時代

「二河白道図」は、善導大師が説かれた二河の比喻を表した仏画です。此岸（現世）の釈迦が往生者を送り出し、彼岸（浄土）の阿弥陀如来がこれを迎える。現世と浄土を結ぶ白道を通して衆生が極楽浄土に往生するさまを描くのが一般です。

本図は、現世や浄土を描かず、阿弥陀如来と釈迦が群青（青色）に描かれた世界で向かい合っているという独特の構図になっています。一遍上人（時宗の宗祖）の念仏思想を表すものと思われます。他に類例を見ない貴重な作品です。



### 本堂 (国重要文化財)

応安7年(1374)、益田七尾城11代城主・益田兼見(かねはる)公により建立され、昭和9年に解体修復されました。鎌倉様式の穏静簡古な手法には見るべきものがあります。

### 萬福寺縁起

時宗益田道場・清瀧山・浄光院萬福寺は、平安時代に建立され、安福寺(天台宗)と号し、益田川河口付近にありました。万寿3年(1026)、大津波のために流失、その後、小庵を建てて法灯を守っていましたが、元応9年(1319)に遊行4代吞海上人が当地に下向入寺された際、時宗の道場になりました。

応安7年(1374)、益田七尾城11代城主・益田越中守兼見(かねはる)公が現在の地に移築して、萬福寺と改称し、寺領31石を与えて益田家の菩提寺と定められました。

文明11年(1479)、15代城主・益田越中守兼亮(かねたか)公が画聖雪舟を益田に招き、堂後に石庭を造らせました。

また、慶応2年(1866)、第2次長州征伐・益田口戦争の際、当山は幕府軍の陣営となり、兵火のために総門は焼失しましたが、幸いに本堂・庫裏にその類を及ぼすことなく、現在に至っています。

### 案内図

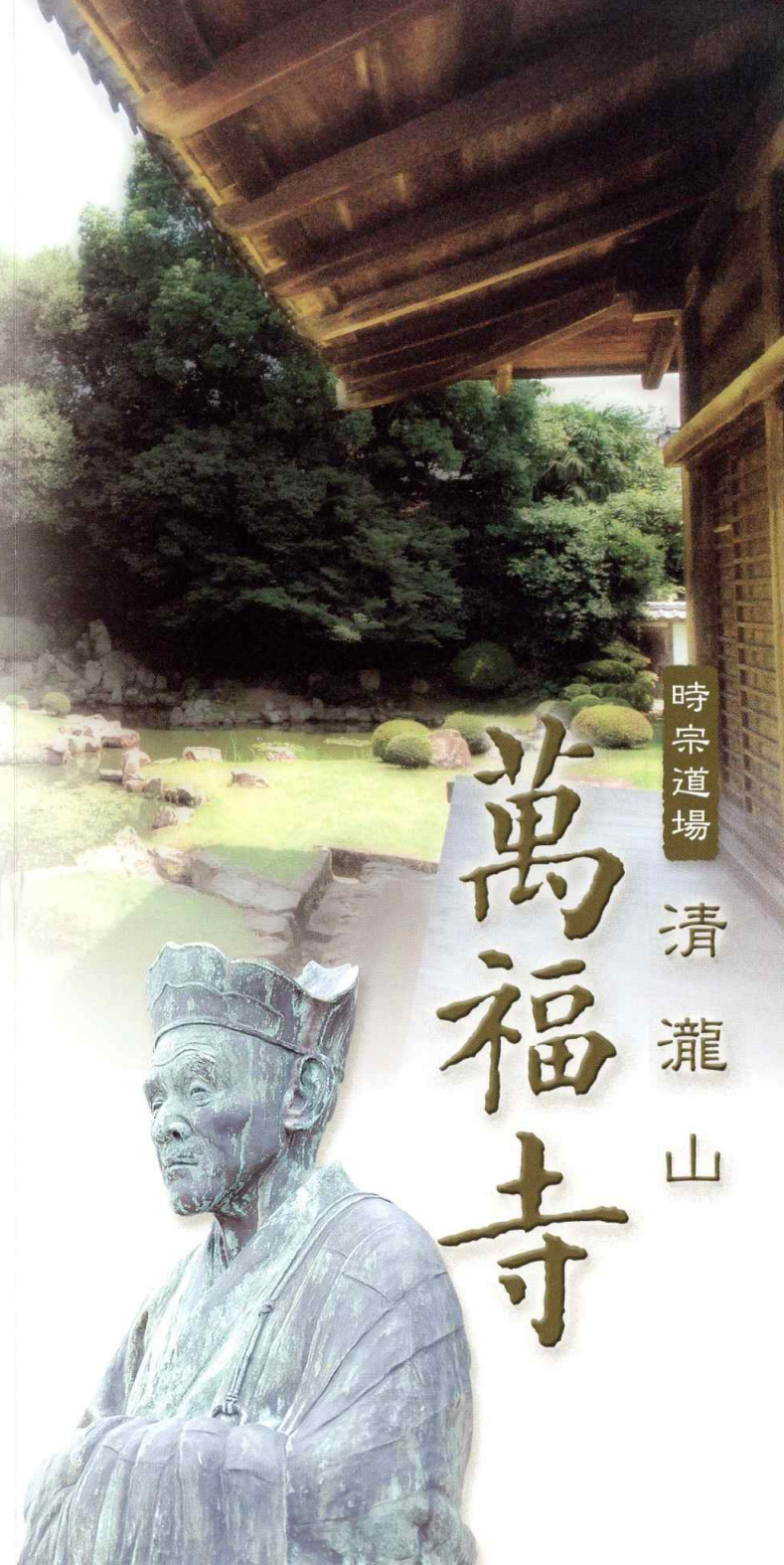
- JR益田駅からバスで約10分
- 浜田自動車道浜田ICから約40km
- 中国自動車道戸内ICから約65km
- 六日市ICから約60km
- 萩・石見空港から車で約20分



## 萬福寺

〒698-0004 島根県益田市東町25-33  
TEL 0856-22-0302  
<http://www.13.ocn.ne.jp/~mannyou/>

駐車場(無料) 普通車15台 受付時間(年中無休) 夏季 8:30~17:30 冬季 8:30~17:00



時宗道場

清瀧山

# 萬福寺



古大家の意匠になれる庭を前にして  
しばらく旅の時をおくる

島崎藤村



### 雪舟庭園(国史蹟及名勝)室町時代

文明11年(1479)、画聖雪舟等楊禪師によって造られた寺院様式の、須弥山世界(仏教の世界観)を象徴した石庭です。

須弥山石を中央にして、右はやや暗く築山であり、枯滝をもち、左は平坦で非常に明るく造られ、明と暗が巧みに使い分けられています。この明るさの焦点にあるのが三尊石です。安定した石の据え方、無駄のない石のくばり、巧みな地割は、さすがに類の少ないものです。面積は1421㎡(430坪)